

Ⅱ 火災の概要

1. 火災の概要

(1) 出火件数と出火率

平成30年の出火件数は454件で、前年に比べて5件増加しており、全都道府県中では、第19位となっている。

また、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は3.4件となっており、全国平均（3.0件）に比べ0.4件上回っている。

火災種別ごとの出火件数は、建物火災が210件（46.3%）で最も多くなっている。また、林野火災は16件で、前年に比べ3件増加した。

1日当たりの出火件数は1.2件（前年1.2件）で、無火災の市町村は十津川村、川上村、東吉野村の3村である。

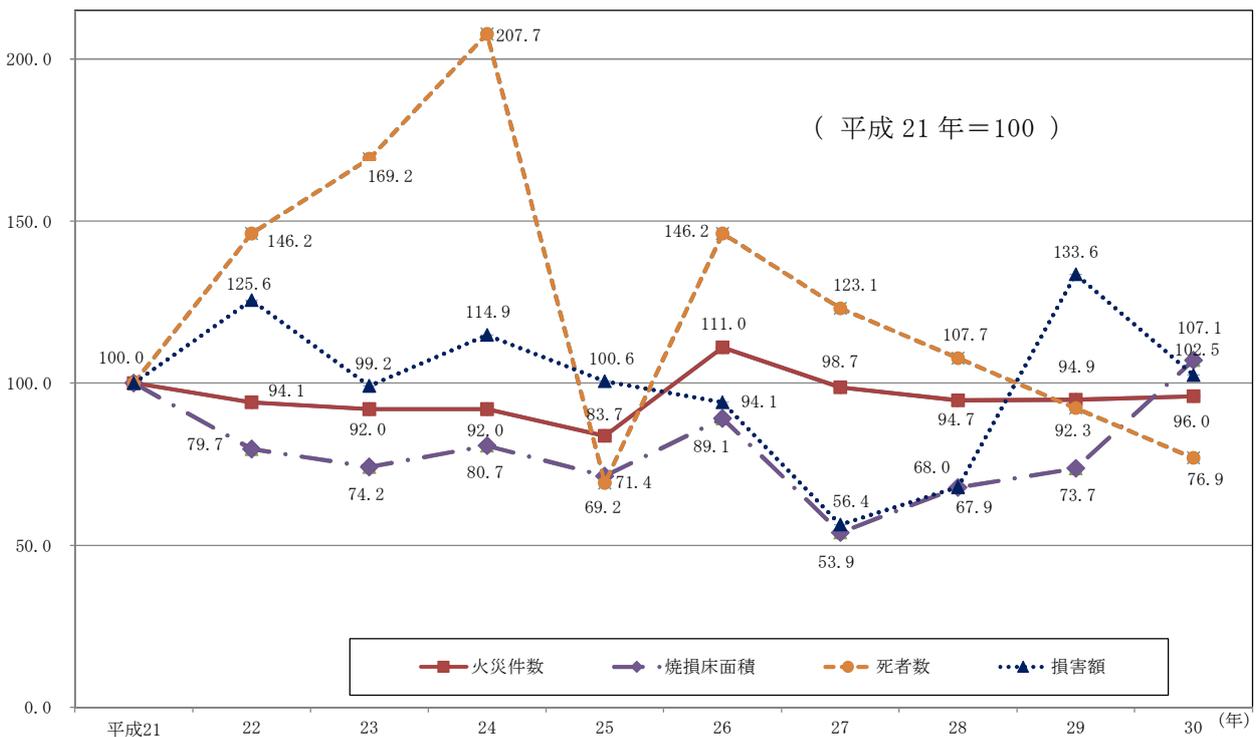
火災種別出火件数

(単位：件)

区 分	平成29年	平成30年	対 前 年 比 較	
			増 減 数	増 減 率 (%)
建 物 火 災	203	210	7	3.4
林 野 火 災	13	16	3	23.1
車 両 火 災	43	35	△ 8	△ 18.6
そ の 他 火 災	190	193	3	1.6
合 計	449	454	5	1.1

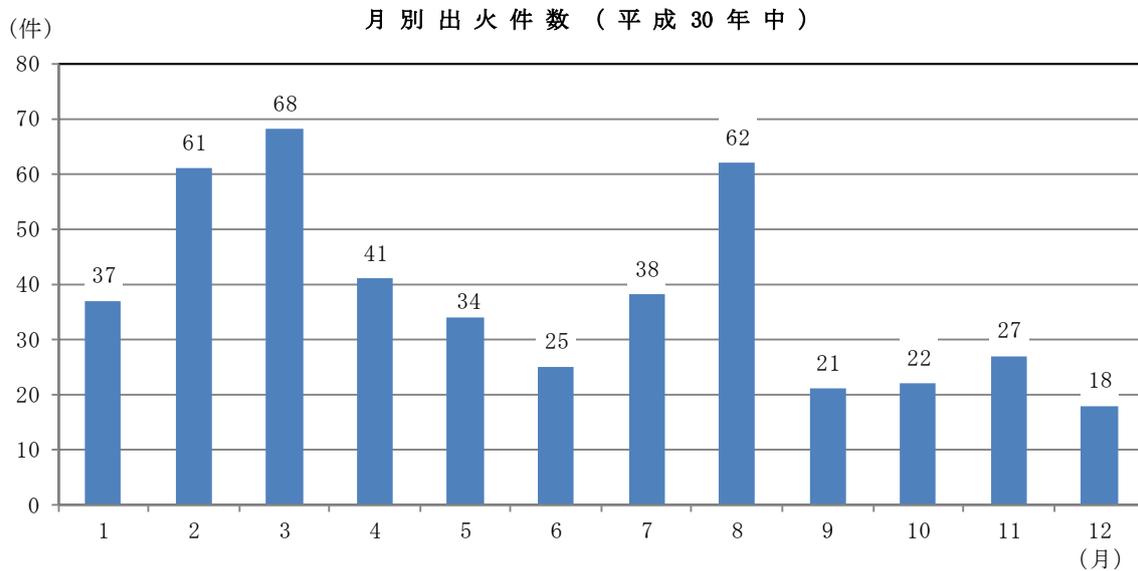
(%)

火災の傾向



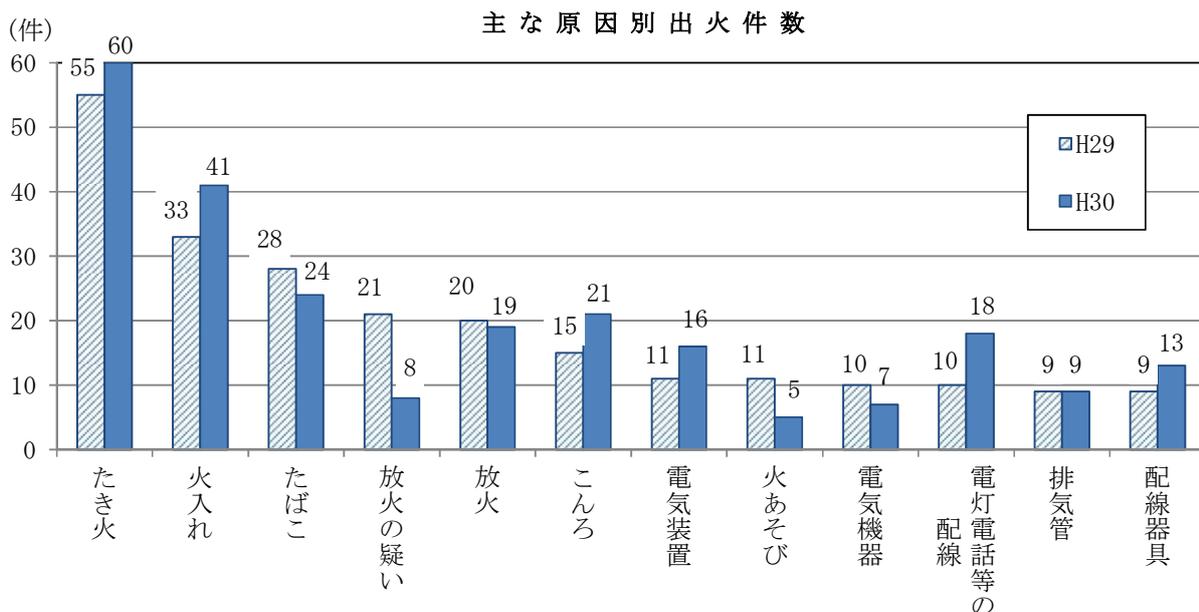
(2) 月別出火状況

月別の出火件数は、3月が68件(全体の15.0%)で最も多く、次いで8月の62件(13.7%)、2月の61件(13.4%)となっており、最も少ない月は、12月の18件(4.0%)である。



(3) 出火原因

出火原因の大半は、放火や火の不始末、不注意から発生している。平成30年中の出火原因の第1位は、「たき火」による火災が60件(13.2%)、第2位が「火入れ」によるもので41件(9.0%)、第3位は「たばこ」によるもので24件(5.3%)となっている。



(4) 焼損棟数と焼損面積

平成30年中の火災の建物焼損棟数は310棟で、前年に比べ6棟(2.0%)増加し、そのうち全焼は73棟(前年85棟)で、焼損棟数合計の23.5%を占めている。建物焼損床面積は16,990㎡で、焼損表面積は2,026㎡であった。

また、林野焼損面積は487aで、前年に比べ290a増加した。

	建 物							林 野		
	火災 件数 (件)	焼 損 棟 数 (棟)					焼 損 面 積 (㎡)		火災 件数 (件)	焼 損 面積 (a)
		計	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	床面積	表面積		
平成28年	205	294	75	16	81	122	10,764	1,853	9	2,336
平成29年	203	304	85	20	97	102	11,696	1,589	13	197
平成30年	210	310	73	19	92	126	16,990	2,026	16	487

(5) り災世帯とり災人員

平成30年中の火災でり災した世帯数は183世帯で、前年に比べ2世帯減少、そのうち全損は49世帯で、全体の26.8%を占めている。

また、り災人員は451人で、前年に比べ1人増加した。

り災世帯とり災人員

	り 災 世 帯 数 (世 帯)				り 災 人 員 (人)	1 日 当 た り り 災 人 員 (人)
	計	全 損	半 損	小 損		
平成28年	189	36	11	142	498	1.4
平成29年	185	50	12	123	450	1.2
平成30年	183	49	8	126	451	1.2

(6) 死傷者数

平成30年中の火災による死者は10人で、前年に比べ2人減少しており、建物火災によるものが6人、車両火災によるものが1人、その他火災によるものが3人であった。また、死因は、火傷が5人、一酸化炭素中毒、自殺が各2人となっている。

一方、負傷者は70人で、前年と同数となった。

死 傷 者 の 数

(単位：人)

	死 者										負 傷 者
	計	年 齢 別						性 別			
		20歳 以下	21~ 40歳	41~ 60歳	61~ 80歳	81歳 以上	不明	男	女	不明	
平成28年	14	0	3	2	5	4	0	11	3	0	58
平成29年	12	0	2	2	6	2	0	6	6	0	70
平成30年	10	2	1	1	4	2	0	7	3	0	70

火災種別及び出火時間帯別死者数

(単位：人)

	合計	火災種別				出火時間帯別						
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	0～ 4時	4～ 8時	8～ 12時	12～ 16時	16～ 20時	20～ 24時	不明・ 調査中
平成28年	14	8	0	3	3	4	3	1	3	1	2	0
平成29年	12	9	0	0	3	3	2	1	2	3	1	0
平成30年	10	6	0	1	3	2	1	2	2	0	3	0

死に至った経過別及び死因別死者数

(単位：人)

	合計	死に至った経過別						死因別					
		逃げ 遅れ	出火後 再侵入	着衣 着火	放火 自殺	その他	不明	火傷	一酸化 炭素中 毒・窒 息	打撲・ 骨折等	自殺	その他	不明
平成28年	14	0	0	0	2	12	0	4	7	0	2	1	0
平成29年	12	0	0	0	3	3	6	0	7	0	3	0	2
平成30年	10	1	0	1	2	2	4	5	2	0	2	0	1

(7) 損害額

平成30年中の火災による損害額は11億8,632万円で、前年に比べ3億5,983万円減少した。うち建物火災は11億6,424万円で、全体の98.1%を占めている。

また、火災1件当たりの損害額は261万円で、1日あたりに換算すると、325万円が毎日灰になっていることになる。